

埼玉親善大使レポート



留学先:メキシコ合衆国 チワワ州
宮崎 七翠

私は、2022年8月から2023年6月までの約1年間、メキシコのチワワ州に高校留学に行きました。

留学の動機

私は、小学校5年生の時に台湾へ2週間、中学校1年生の時にアメリカへ1ヶ月ホームステイをした経験があります。当時の私はそこで、日本の外に出てその国の文化や言葉に触れることの楽しさに気づきました。もう少し長い期間海外に滞在し、現地の方々が話している言葉を話せるようになりたい、もっとたくさん文化に触れたいという思いから留学を決めました。

メキシコでの生活



メキシコでの10ヶ月間、私はホストファミリーのもとで過ごしました。一緒にスーパーマーケットに行ったり、映画を見たり、その日あった出来事を共有しあったりなどメキシコの家族の普段の生活を過ごすことができました。その中でも日本との違いがたくさんあり、最初は驚きましたが、その違いが私にとってすごく良い刺激になりおもしろいと思いました。例えば、スーパーマーケットや飲食店などのお店に行くと、店員さんがイヤホンしながら仕事していたり、レジではお話をしながらお会計したりなど楽しそうに仕事をしていました。それから、メキシコの人たちは映画が大好きなので映画館に行くのですが、料金がとても安く、チケット代よりもポップコーン代の方が高くなるという…日本人の私からしたら不思議な感覚でしたがすごく気分が上がったのを覚えています。

私は、現地の公立の高校に通っていました。そこではたくさんの友達ができ、先生方にもたくさんサポートをしてくれました。友達とは放課後、ファッションモールに行ったり映画を見たりカフェに行ったり勉強したりしました。私が誕生日の時は、クラスのみんなからたくさんのプレゼントを貰ったり、Las mañanitas を歌ってくれたり、盛大に祝ってもらいました。すごく嬉しかったのを覚えています。



埼玉県のPR

自分が住んでいる場所について紹介をする機会を何度かいただき、パワーポイントを使って紹介しました。埼玉県の位置や人口、面積などの基本情報から食べ物、鉄道博物館、川越などを紹介しました。とても興味をもって聞いてくれました。発表が終わった後にも、紹介した観光地について詳しく教えてほしいと言ってくれました。そこから話が広がり、お互いの町についての情報交換などをしました。

「東京の上にある埼玉県」という認識から「あれがあってこれがおいしい埼玉県」という認識に変わったという友達もいました。次日本に行くときは埼玉にも行ってみたいと言ってくれる方もいました。

プレゼンをするのは少し緊張したし、難しいなと思うこともありましたが、次日本に行くときは埼玉にも行ってみたいと言ってくれる方がたくさんいたので紹介してよかったなと思います。